

山県市の 祭りと民俗芸能

21 谷合の精霊送り(美山地域 谷合)

■実施日 8月24日

■実施場所 天鷹神社↓谷合集落↓前橋↓善導寺

■実施主体 谷合地区1〜7区、13区の自治会



谷合精霊送りの様子

市無形民俗文化財調査報告書は、市内の小中学校、図書館、中央公民館、地区公民館に備えてあります。

市内には、先人が築き、大切に守ってきた伝統的な祭りや民俗芸能などの無形民俗文化財が多数継承されています。こうした地域の宝である民俗芸能や行事について、「岐阜県山県市無形民俗文化財調査報告書」から紹介します。

生涯学習課文化財調査室 TEL 32 9 0 0 8

【行事の次第】

午後7時、太鼓や鉦を担当する小中学生と谷合太鼓保存会の会員を先頭に、天鷹神社から精霊送りの行列が出発します。道中では太鼓と鉦の送り拍子に合わせ、保存会の会員が「やいやいぼう(やーやーばー)よ、いっさいしようろのおんくりやい(おんたちや)」と大声で囃します。集落の家々では、笹竹の先端部を斜めに切り落とし、下の方の枝を打ち払った長さ約2メートルのものに、紅白の縦縞の提灯を一つ付け、多数の和紙の切子や線香をこよりで枝に吊した精霊竹を持って行列の到着を待ち、次々と合流していきます。

行列は終点の善導寺に向かい、太鼓と鉦の送り拍子は前橋の手前で終わります。集落の人々は、善導寺の住職が読経する中、精霊竹を善導寺の脇の空き地に納めます。精霊竹には火が付けれられ、燃え上がる中へ次々と投げ込まれ、最後の人が納めるまで読経が続けられます。

【行事の由来】

8月15日の川送りで家ごとに先祖を来世へと送りますが、中には行き遅れた先祖もいるため、24日の盆の終わりに全て来世へ返すために、この行事を行っているといわれています。

【行事の変遷】

数年前までは、行列は前橋が終着点であり、到着すると精霊竹の提灯の火を提灯に移して燃やし、葛原川へ竹ごと投げ入れていました。



切子のイメージ

編集後記

今回は、山県を旅しようをテーマにカラーページを増やした夏の特別号です。特集では観光担当が作成したカレンダーの写真を中心に山県市内の絶景を紹介しました。普段見慣れた景色でも、カメラのファインダーを通じた景色は別世界のように見えます。こんな素晴らしい写真が撮れたら、きっともっと違う山県を発見できるんだろうなあ。もっと写真の腕を磨き、皆さんに山県を再発見してもらえよう頑張ります。(Y)

紅白歌手の三山ひろしさんが山県市ふるさと大使に就任しました。就任式で、三山さんが山県との「縁」を口にされています。美山と三山が同じ読み方という「縁」もありますが、人と人との「縁」を非常に大切にされているなど強く感じました。前の職場の上司が、仕事をするうえでお客様との「縁」を大切にしないとよく言っていました。どの職場でも大切にすることは変わりません。頂いた「縁」を意気に感じて、仕事に取り組んでいこうと思います。(S)

広報山県

Kouhou YAMAGATA

発行 山県市
〒501-2192
岐阜県山県市高木1000-1

編集 企画財政課
TEL 0581-22-6825
FAX 0581-27-2075

URL <https://www.city.yamagata.gifu.jp/>
E-mail info@city.gifu-yamagata.lg.jp



大豆油を含む植物油を使用したインキで印刷されています。

